



ボランティア国際年



2001

2001年は

ボランティア国際年です



ボランティア国際年の  
マスコットキャラクターです。

協賛事業を募集しています。くわしくは次ページをご覧ください。



三重県内各地で次々に生まれつつある  
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

## 市民ネットワーク「きらめき亀山(かめさん)21」亀山市

まちのためにいろいろな人が自由に意見を言えて提案したり市民や行政のいろいろな情報がいっぺんにわかる場です。現在9の分科会で個々に例会等をもち現地で具体的に活動し毎月21日の全体会でその報告と相互の交流をしています。



全体交流会

全体会の参加者は50人～70人です。また「きらめき亀山(かめさん)21」のサポートとして企画と広報の2つの組織を持ち計約20人ほどが毎月例会を持って全体の活動推進と毎月の定期ニュースの発行、ホームページの維持運用を行なっています。

「きらめき亀山(かめさん)21」の発足のきっかけは県、市の行政からの働きかけでしたが行政に要求するだけの従来の枠から脱却し市民として行動し行政と協働することで自ら住みやすい地域を創り出そうと皆で智恵と力を出し合っております。  
広報スタッフ:伊藤 幸一

●周辺の状況、最寄の駅や駐車場など／亀山駅より徒歩10分亀山城多間櫓の近く、亀山西小学校の向い側、駐車場あり

●開設時間・休日／定例全体交流会毎月21日PM7:30～

●施設設備／亀山市役所市民課内に「市民活動コーナー」、パソコン1台、掲示板、レターケース、書籍

●機能／誰もが対等にまちのための意見を言い合える場をつくり、地域社会の課題に取り組む各種分科会活動を支援する市民と行政の協働ネットワーク

●活動状況／

・毎月21日機関紙発行。

・分科会活動、企画・広報スタッフが運営を支える活動を行う。

(街並み保存、バリアフリー、子どもについて、商店街を考える、新しい祭り、亀山国際交流の会、みんなで生涯学習を、いいとこ探し、自然環境を考えるの9種類)

・毎月の分科会全体交流会

・「きらめき亀山(かめさん)21」としての企画と広報活動、ホームページ作成更新

●所在地／519-0195 亀山市本丸町577 亀山市役所市民課内

亀山市役所市民課市民参画女性係

●ホームページ／<http://www1.ocn.ne.jp/~kesmito/kirameki/>  
(仮設運用)



棚田見学会

◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981・5982・

5983

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPO担当ホームページ

<http://www.mienpo.net/>

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。



# ボランティア国際年

## 2001年ボランティア国際年 みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。

2001年1月から12月の間に取り組みられるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

●問い合わせ先/2001年ボランティア国際年みえ推進協議会 514-0009 津市羽所町700 アスト津3F 三重県ボランティアセンター内  
Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635  
E-mail mvc@miewel.or.jp  
ホームページ <http://www.mienpo.net/iyv2001/>

# イベントスケジュール

## J・K・C友好音楽会

～胡弓 心に響く故郷一愛の調べ～

●とき/8月4日(土)PM6:30～ ●ところ/近鉄磯部駅構内  
●内容/J・K・Cはジャパン、コリア、チャイナの頭文字で音楽を通じて、アジア近隣諸国と友好、親善を深めていきたいと願っています。国際親善、人権問題、地球環境など、心の豊かさが問われる昨今、癒しの音楽と絶賛です。今回、胡弓(二胡)を奏でてくれるのは鳴尾牧子さんです。

●主催・問い合わせ先/磯部町国際交流協会  
Tel.0599-55-0091

... ..

●とき/8月10日(金)、24日(金)PM7:00～  
●ところ/みえ市民活動ボランティアセンター(津駅前アスト津3階)交流スペース ●参加費/無料(申込不要)  
●内容/〈中国胡弓の演奏〉…日本の童歌、引田竜太郎メドレー(叱られて・浜千鳥・春よ来い)  
〈体験コーナー〉…実際に胡弓を弾いてみてください。  
●問い合わせ先/皇甫 潤 Tel.090-4084-1370  
●主催/J・K・C-art

## 「回復は出会いから」

### 第3回三重ダルクフォーラム

●とき/8月7日(火)AM10:00～PM3:30  
●ところ/三重県庁講堂 ●参加費/無料  
●内容/「第5次薬物乱用期の若者たち—今、私たちにできること—」をテーマに横浜市立戸塚高校教諭の水谷修さんに基調講演を行っていただくほか、ダルク・家族・関係者からのメッセージがあります。  
●問い合わせ先/三重県こころの健康センター Tel.059-255-2151 三重ダルク Tel.059-222-7510  
●主催/三重ダルク、三重ダルクを支援する会(仮称)、三重県

## やまゆり会・嬉野自然観察「ふわふわ～む」合同主催 「自然観察会」夏休み特別編

●とき/8月8日(水)AM8:00～(雨天決行)●参加費/無料

●ところ/うれしの「ふるさと会館」駐車場前集合～催し場に移動  
●内容/時代が要求している、野外での「面白体験」を一緒にしてみよう。この会は誰でも気軽に、いつからでも自由に参加することができます。親子で「ザリガニ釣り、オタマジャクシ・メダカとり、ミズ捕り競争」を夏休みの思い出として、お楽しみください。

なお、嬉野自然観察「ふわふわ～む」では毎月第2日曜日AM10:00から野外体験を行っています。集合場所は嬉野図書館南入口前です。どなたでも自由に気軽に直接に参加してもらえる会です。

●申込・問い合わせ先/日赤地域奉仕団 やまゆり会  
(会長:宇留田敬子) Tel.&Fax.0598-42-2703

## 「子ども科学体験教室」 に集まれ!

●とき/8月8日(水)～10日(金)AM10:00～PM4:00  
●ところ/三重県科学技術振興センター  
●内容/子どもさんを対象に、科学技術振興センターが日頃行っている研究や実験などを楽しく、わかりやすく公開し、科学の面白さを体験してもらいます。科学技術振興センターの6研究部(保健環境研究部・工業研究部・農業研究部・畜産研究部・林業研究部・水産研究部)では一般の方を対象に公開講座などを行ってききましたが、今回は子どもたちを対象に、各研究部の主な研究内容等を一堂に紹介し、科学についてよく知ってもらうことを目的とします。  
【プログラム】(都合により内容に変更がある場合があります。)

◆Aゾーン…ものしり博士講座(ものしり博士によるお話コーナー)  
8日(水)/味噌と醤油とおもちの話・粘土の不思議?・真空って不思議・くだもの(果物)だもん!

9日(木)/ミクロの世界(虫の秘密)・とりだしてみよう!これがDNA(遺伝子)だ!・びっくりさせてコメ～ん!…コメの種類と起源…

10日(金)/卵が先か?鶏が先か?・コウモリの不思議・イセエビの不思議・干潟が環境に果たす役割

◆Bゾーン…科学の広場(展示物や体験・実験コーナー)  
8日(水)/顕微鏡で見る昆虫の口の中や細菌・酸・アルカリと『食べ物』・遺伝子操作による“光るコメ”など21種類

9日(木)/ネーム入り梨のプレゼント・くだもので電気が光る・水の硬さをはかる・大気圧と真空の実験など21種類

10日(金)/ヒヨコの誕生・プランクトンをのぞいてみよう・真珠のできるしくみなど20種類

●申込方法/参加自由で、事前申込は必要ありません。

●主催・問い合わせ先/四日市市桜町3690-1  
三重県鈴鹿山麓研究学園都市センター内  
三重県科学技術振興センター Tel.0593-29-3609

## 「レジ袋 ない・ない月間(10月)」

第2回準備集会を開催します

●とき/8月10日(金)PM2:00～PM4:00  
PM7:00～PM9:00  
※ただし、PM7:00からの回は萩原喜之さんのみのお話です。  
●ところ/みえ県民交流センター(津駅前アスト津3階)  
●参加費/無料  
●内容/三重環境県民会議では、現在の使い捨て・大量消費型の生活スタイルを見直すきっかけとして、県民誰もが参加できる「レジ袋 ない・ない(レジ袋もらわない、なるべく提供しない)月間」を今年10月に開催します。

この月間に向けて、月1回準備集会を開催しますが、レジ袋だけでなく、いろんな立場からの環境に関する取り組みをご紹介しますので、どうかお気軽にご参加ください。

今回は愛知県から中部リサイクル市民の会及び豊田市役所の方を

講師に迎え、お話を聞いた後、意見交換を行います。

【講師及び議題】

「愛知県内の市民団体や行政の、ゴミ問題に関する考え方や取り組みの紹介など」 萩原善之さん

(特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会代表)

「豊田市の買物袋持参運動(共通シール制度)の現状と課題」

川澄健一さん (豊田市環境部エコライフ課副主幹)

●参加方法/直接会場へお越しください。

●問い合わせ先/三重環境県民会議事務局(川本)((財)三重県環境保全事業団内) Tel.059-245-7512

Fax.059-245-7518 E-mail kenmin@mec.or.jp

2000.9.11~12東海豪雨ボランティアの検証討論会③  
「障害者に対する支援活動」

●とき/8月11日(土)PM1:00~4:00

●ところ/安田火災名古屋ビル17階会議室

(名古屋市中区丸の内3-22-21/地下鉄「久屋大通」下車1番出口西へ徒歩3分) ●参加費/無料(事前申込み不要)

●内容/阪神・淡路大震災でいわゆる「災害弱者」のことが問題になりました。私たちはそこから多くを学び、悲劇を繰り返さないようにするはずでした。しかし、東海豪雨でその学びは生かされたのでしょうか?障害者は何が困り、何が必要だったのか?次に備えるための平常時の取り組みは?当事者団体の努力だけでなく、緊急時に支援する「社会のしくみ」を今度こそ構築していくための討論会を開催します。※手話通訳あり

【討論会参加者】

進行:横山明泰(震災から学ぶボランティアネットの会)

問題提起:水谷 真(社会福祉法人AJU自立の家)

大川美和子(コンビニハウス)・斎藤亮人(わっぱの会)

戸水純江(重度障害者通所施設 友の家)

伊藤由紀(重度障害者活動拠点「1980夢」)

総合司会:栗田暢之(震災から学ぶボランティアネットの会)

●問い合わせ先/震災から学ぶボランティアネットの会

Tel.052-413-6304

●主催/震災から学ぶボランティアネットの会

●共催/AJU自立の家、コンビニハウス、わっぱの会、友の家、1980夢

津市市民活動センター「なつまつり2001」

●とき/8月18日(土)AM10:00~PM8:00

●ところ/津市市民活動センター3階 ふれあい広場

(津センターパレス3F)

●内容/日本テレビ系列のテレビ局が毎年おこなう24時間テレビのチャリティー募金の募金箱を、この日津市市民活動センターに設置します。それにあわせて楽しい「なつまつり」を企画しました。

チャリティーオークションやいろいろな模擬店、竹工作コーナー、宝さがし、携帯のオリジナル待受画面作成、アトラクション、ゲーム大会などもりだくさんです。どなたでも参加できます。お気軽に遊びにきてください。

また、当日お手伝いいただけるボランティアの方も大募集しています。お手伝いいただける方は、8月10日PM7:00に津市市民活動センターに集まってください。

●申込・問い合わせ先/514-0027 津市大門7-15 津センターパレス3階 津市市民活動センター事務局(担当:山口・藤原) Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7210

E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

●主催/津市市民活動センター、ボランティアグループ『はじめての一步』

第14回『自閉症の理解を求めて』講演会

●とき/8月23日(木)開演PM2:00~PM3:30

●ところ/三重県総合文化センター・フレンドみえ(旧女性センター)多目的ホール ●参加費/無料

●内容/今年の夏の講演会は、20年前日本で初めてできた自閉症の施設、あさけ学園設立発起人のお一人で、現在あさけ学園の理事長である石丸晃子さんをお迎えします。43歳になる自閉症の息子さんのお母さんであり、全国自閉症施設協議会の会長として、日本自閉症協会の理事としてご活躍です。石丸さんが息子さんと歩んでこられた43年を振り返っていただき、学問的な理解だけでなく、家族としての温かさを持って、自閉症の理解を深めていただくお話がうかがえることでしょう。

●問い合わせ先/社団法人日本自閉症協会三重県支部

Tel.&Fax.059-234-9477(横山美香)

☆☆☆ たるみフェスタ ☆☆☆

~わたし達ぼく達もがんばっているよ!~

●とき/9月8日(土)AM10:00~PM2:00

●ところ/津市たるみ作業所(津市垂水1300 津市社会福祉事業団)

●内容/知的障害者や毎日作業所をしている作業所のことを知っていただくための催しです。他施設の仲間のコーナーもあります。作業所を知っている人も知らない人も気軽に遊びに来てください。

【催し物】作業所のなぞを解き明かす展示のコーナー、おいしいものいっぱい模擬店いろいろ、掘り出し物が見つかるバザー、子供たちいらっしやい、一緒に遊ぼうコーナー、私たちがやっている作業体験コーナー、私たちや市内他施設の製品を販売するふれあいマーケット

●申込・問い合わせ先/猪野 Tel.059-226-9530

※フェスタのボランティア募集!!

スタッフとしてフェスタのお手伝いをしていただけませんか?

主に、模擬店のお手伝いをお願いします。

ネットワークのよびかけ

誰でもできるマネジメント講座

私たちが市民活動団体を運営していくうえで、さまざまな課題にぶつかります。その課題を解決する方法を、マネジメントという視点から、自分たち自身で見出していくための講座を開催します。講座は全11講座、20コマ。希望する講座のみを受講することもできます。参加対象は主として北勢・桑員地域で市民活動に取り組んでいる方たち、またはこれから市民活動に取り組もうという方たちです。

【講座内容・日時】

NO.1『ワークショップを使った横型組織の経営戦略』

とき/第1回8月17日(金)・第2回9月1日(土)

講師/伴和子さん(フィール・アクト・ワークショップ)

NO.2『私が出来ることを確認しよう!—思いの発見/ワークショップコース』

とき/8月20日(月)

講師/菊田融さん(市民活動にゆーず編集長)

NO.3『未来デザイン講座/通信コース』(インターネットを使って)

とき/第1回8月21日(火)・第2回8月27日(月)・第3回9月3日(月)・第4回9月10日(月)・第5回9月17日(月)・第6回9月25日(火)

講師/井上淳之典さん(地域づくり考房みなと代表)

NO.4『ゲームで学ぶ非営利組織の経営その1 会社ゲーム』

とき/第1回8月28日(火)・第2回9月1日(土)・第3回9月9日(日)

案内人/井上淳之典さん(地域づくり考房みなと代表)

NO.5『ゲームで学ぶ非営利組織の経営その2 広報戦略・資金獲得とソーシャル・マーケティングゲーム』

とき/9月4日(火)

講師/村田元夫さん(中小企業診断士)

NO.6『市民活動のための経営戦略としての事業評価(自己評価)』

とき/9月5日(水)

講師/森西宏巳さん(県NPO担当)他

NO.7『実践!!市民活動団体及びボランティア団体初級会計講座』

とき/9月12日(水)

講師/水谷慎吾さん(市民活動ネットワーク平成の町割会常務)

NO.8『市民活動にも使える情報メディア』

とき/9月13日(木)

パネリスト/平生佳代さん(FMポートウェーブ・ゼネラルマネージャー)他

NO.9『助成金獲得講座』

とき/9月14日(金)

講師/水谷慎吾さん(市民活動ネットワーク平成の町割会常務)

NO.10『NPOに経営戦略がないなんていわせないぞ!でも、経営戦略ってどんなかな?』

とき/第1回9月18日(火)・第2回9月19日(水)

講師/長友隆司さん(日本経営品質賞中部アセッサー協議会幹事)

NO.11『えっ!平成の町割会が偶然出来たって?—協働、そのタイミングと組織の意思決定の仕組み—』

とき/9月23日(日)

パネリスト/石川雅巳さん(桑名市中心市街地整備課課長)他

●ところ/市民活動センターわたし2階 サロンわたし

●参加費/1コマ500円 ●募集人数/各講座15人

●申込・問い合わせ先/誰でもできるマネジメント講座実行委員会(近藤)Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

.....

## 「少子社会を考える県民トーク」への お誘い

四日市市を活動の中心とする、子育て支援グループ『サークルすくすくボン』(代表久志本純子)は、三重県主催の「少子社会を考える県民トーク」の実施主体として、県内のさまざまな市民活動グループ等と連携し、四日市市(終了)、久居市、熊野市、松阪市、津市の県内5ヶ所で実施します。

子育て中の方にも気軽に参加していただけるよう、すべて無料の託児付です。また、子育てに関するいろんな情報も交流されます。このトークで交わされた様々な意見は「三重県少子社会を考える県民懇話会」に反映され、施策プランの基礎となります。ぜひご参加ください。

【久居会場・一本音で語ろう!! 少子社会のメリット・デメリット 子育て環境】

●とき/7月29日(日)PM1:30~PM3:30

●ところ/ポルタひさい3F 多目的研修室A(近鉄久居駅ビル 有料駐車場有)

●内容/「少子社会」をキーワードに、子育ての大変さや楽しさ、そして子育て環境についてワークショップ形式で意見交換をします。パネリストはやましろ小児科院長山城武夫さん、久居社協勤務の社会福祉士荒井隆夫さん、24時間託児ホームを運営するIKプランニング代表の山川稲子さん、久居市議会議員でもある主婦代表辻美津子さんです。

●参加費/無料(無料託児有。ご予約ください。)

●問い合わせ先/特定非営利活動法人 久居市子育て支援ネットワークNPOどんど(代表:佐橋俊美)

Tel.059-255-3603

【熊野会場・少子社会を考えよう】

●とき/8月1日(水) AM10:30~正午

●ところ/熊野市健康福祉センター

●内容/臨床心理士の中川一郎さんとカウンセラーの中川祥子さんご夫妻、保健婦の松下さん、地元子育てグループ代表の大藪ますみさんによるパネルディスカッションと会場の方との意見交換。

●問い合わせ先/尾中 Tel.05978-9-3113

【松阪会場・少子化をあなたはどのように考えますか?】

●とき/8月5日(日)PM1:00~PM3:50

●ところ/松阪ワークセンター労働会館2階(上川町徳和小学校裏 Tel.0598-29-6510 駐車場有)

●内容/皇学館大学から講師を招いて、参加者と共に意見を交換するワークショップ形式で行います。

●参加費/無料(無料託児有)

●問い合わせ先/松阪自然探究会(代表:三谷博隆)

Tel.0598-21-7765

【全体会・津会場・少子社会の楽しみ方教えます】

●とき/8月26日(日)PM1:00開場 PM1:30~PM4:00

●ところ/津市センターパレス 5階ホール(有料駐車場有)

●内容/「パラサイト・シングル」の命名者として知られる、東京学芸大学教育学部助教授山田昌弘先生の基調講演のほか、少子時代の子育て環境を考えるパネルディスカッション。豪華?賞品のあたる『みんなで考える少子社会クイズ大会』もあります。

●参加費・無料。(無料託児有。ご予約ください。)

●問い合わせ/津市市民活動センター Tel.059-213-7200

.....

## 平成13年度ヘルシー街づくり協働事業 健康な街づくりに取り組む方々を募集します

三重の健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」の推進にあたって、住民をはじめ各種団体との協働のなかで健康に関わるさまざまな取り組みが地域において展開されることが期待されています。そのなかで三重県では、取り組みのモデルになると認めた実施主体に対して、「健康な街づくり」についての企画及びその具体化としての事業実施を委託します。次のような点をふまえて事業を計画してください。

・ヘルシーピープルみえ・21に掲げる数値目標の達成に向けて、相応の効果が期待できる。

・広報などの活用によって、さらに事業の展開が後に期待できる。

・実施団体の中に、住民が活動メンバーとして関わっている。

・備品購入費(リース料を含む)、消耗品費などの計画額に占める割合が、著しく大きくない。

●受付締切/8月27日(月)

●事業予算額/事業総額220万円(県内の数団体に分割して発注する予定)1事業あたりの委託額は、70万円程度が上限見込み。

●応募方法/最寄りの県民局保健福祉部へ、別途定める事業実施計画書を提出。(様式は下記または各県民局保健福祉部まで)

●問い合わせ先/三重県健康福祉部健康対策課地域保健グループ Tel.059-224-2335 Fax.059-224-2340

.....

## 今年もやりませ

第4回伊賀の国市民活動交流会実行委員会  
参画メンバー、当日ブース参加、お手伝いスタッフ  
募集しています

11月4日(日)、名張市総合福祉センターふれあい、および周辺旧市街地において広く市民のみなさんに、ボランティア・市民活動を知ってもらい、なかまづくり、ネットワークづくりの出会いのきっかけになるように、また催しをとおしてつながりが深まるようこと、今年も市民活動交流会を開催します。

今年は、名張市ボランティア連絡協議会や、会場となる名張市、名張市社会福祉協議会とも協力して、2001年ボランティア国際年の協賛イベントとしても行う予定です。

つきましては、参画していただける方、PRしたい方、当日、お手伝いいただける方を広く募集しています。

ぜひご参加ご協力を!ご連絡をお待ちしています。

●参加申込・問い合わせ先/まちづくりセンター

Tel.0595-24-7612 Fax.0595-24-7613

## フリーマーケット情報

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

●とき/8月26日(日)AM10:00~PM3:00(雨天中止)

●ところ/近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

●問い合わせ先/小森悦司 Tel.090-5113-1114

E-mail crm2000@zvt.ne.jp ●主催/久居フリーマーケット連絡会

## みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は8団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

【94】

(1)平成13年6月13日 (2)特定非営利活動法人ライフケア・クローバー

(3)山本百合子 (4)志摩郡志摩町和具2264番地の1

(5)平成13年8月13日まで (6)設立

(7)この法人は、少子高齢化社会における諸課題に対応するため、青少年育成支援活動、在宅生活で支援を必要とする高齢者や障害者に対する生活支援型福祉サービス等の活動、地域活性化を目的とする活動等々への積極的な取り組みを通じて、誰もが明るく豊かに暮らせる社会の構築と、地域福祉の向上に寄与することを目的とする。

【95】

(1)平成13年6月22日 (2)特定非営利活動法人廃資リサイクル事業団

(3)吉原和志 (4)四日市市大矢知町1317番地

(5)平成13年8月22日まで (6)設立

(7)この法人は、一般家庭や小学校等の公共施設から出る有機物(生ゴミ)の処理や各事業所から出る有機物について考え、現在行われている有機物の焼却処分を止め、再利用(リサイクル)や消滅処理を実践し、「クリーンなまち四日市」というキーワードを全国にむけ発信し、市民一人一人が、ゴミの削減・ゴミとの正しい付き合い方・ゴミとの共存・ゴミ処理施設の維持管理費削減を真剣に考え、実践することを目的とする。

【96】

(1)平成13年6月26日 (2)特定非営利活動法人地域たすけあい三重ネットワーク

(3)池田好子 (4)鈴鹿市算所3丁目9番地の46

(5)平成13年8月26日まで (6)設立

(7)この法人は、多様化したニーズに対応した高度で質の高い福祉サービスを提供すると共に、マンパワーの育成と確保のために、同じ目的を持った信頼できるグループ作りと、愛と心が通じ合う行き届いた介護活動等に取り組み、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

【97】

(1)平成13年6月26日 (2)特定非営利活動法人ライフケア・ドリーム

(3)福山登代子 (4)松阪市上川町2296番地

(5)平成13年8月26日まで (6)設立

(7)この法人は、少子高齢化社会における諸課題に対応するため、青少年育成支援活動、在宅生活で支援を必要とする高齢者や障害者に対する生活支援型福祉サービス等の活動、地域活性化を目的とする活動等々への積極的な取り組みを通じて、誰もが明るく豊かに暮らせる社会の構築と、地域福祉の向上に寄与する

ことを目的とする。

【98】

(1)平成13年6月28日 (2)特定非営利活動法人NPOアートホック

(3)田中瑞穂 (4)四日市市南小松町2731番地3

(5)平成13年8月28日まで (6)設立

(7)この法人は、絵画・音楽・映像に関する事業を行い、生命の尊さと素晴らしさを心にとどめ、人々が、自らの生き甲斐を見だし、社会参画を図るとともに、文化的、芸術的な活動を推進して社会福祉と青少年育成に寄与することを目的とする。

【99】

(1)平成13年7月5日 (2)特定非営利活動法人花とみどりのネットワーク

(3)毛知橋雄 (4)四日市市水沢野田町1261番地1

(5)平成13年9月5日まで (6)設立

(7)この法人は、広く三重県民に対して、花と緑の普及に関する事業を行い、花と緑による潤いのある暮らしとまちづくりに寄与することを目的とする。

【100】

(1)平成13年7月9日 (2)特定非営利活動法人イーエム市民広場

(3)小川敦司 (4)四日市市垂坂町864番地9

(5)平成13年9月9日まで (6)設立

(7)この法人は、EM(有用微生物群)の活用を中心に、生ゴミ堆肥化の推進、自然農法の普及をはじめ、汚水処理、工業利用、産業廃棄物リサイクルの推進など、地球レベルの環境問題を解決するため、奉仕の精神に基づき、広く社会に寄与する事を目的とする。

【101】

(1)平成13年7月13日 (2)特定非営利活動法人ヒムカ

(3)鈴木人生 (4)員弁郡大安町大字石樽東1169番地の1

(5)平成13年9月13日まで (6)設立

(7)この法人は、有機廃棄物資源の再活用に対して、製造されたコンポストの積極的な利用に関する事業を行い、もって資源循環型農業を実践するとともに、あらゆる大地の生命力をよみがえらせ、自然循環型社会の構築を目指すことを目的とする。

(平成13年6月13日から平成13年7月16日申請分)

## 助成金 ニュース

ファイザープログラム

心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援

～健やかな明日・健やかなコミュニティ～

●受付締切/8月13日(月)

●助成の目的/この支援プログラムは、「心とからだのヘルスケア」の領域で活躍する市民活動団体による「健やかな明日・健やかなコミュニティ」をつくることへの試みを支援することを目的としています。健やかな生活を追求するとともに、未来に向けての長期的な展望のある取り組みへの支援を意図しています。ここでいう「ヘルスケア」とは、保健・医療・福祉・生活を一体としてとらえ、充実した人生、つまり生き方そのものへのケアをさします。また、「コミュニティ」とは、特定の地域社会だけでなく、共通の思いや立場による人々の集まりも含むこととします。

●助成の対象となる団体/1、日本国内に活動拠点があること。

2、原則として2年以上の活動実績があること。

3、団体の目的や活動内容が、政治・宗教・営利などの目的に偏っていないこと。

4、法人格の種類や有無は問いません。

●助成の対象となる活動/社会性のあるものであれば、特に形態や内容を問いません。ただし、以下のような点を重視します。

1、独創的で試行性の強いもの。

2、コミュニティに根ざした活動で継続性が期待できるもの。

3、政府・自治体などの公的機関から資金を得にくいもの。

4、複数の団体で共同・協力して行うことによって、より高い効果が得られるもの。

なお、今年度の重点課題は以下のものです。ただし、ここにあげた内容以外のプロジェクトについても「プログラムの主旨」に合うもので高い評価を受ければ助成の対象になります。

1、成長過程にある人たちの心身の発達を支援する活動…主に10代がかかえる問題を克服し、生きる喜びをもつことを助けるもの。

2、社会的な受け皿がないために保健・医療が受けられない人たちの心身の保健・医療を支援する活動…外国人、路上生活者、PTSD(心的外傷後ストレス)

ス障害)の人たちなどを対象とするもの。

3. 障害を持つ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動...身体障害・知的障害・精神障害などの人たち、難病・長期疾病にある人たちの社会生活を豊かにするもの。

対象事業の期間 / 14年1月1日～12月31日  
助成の額 / 上限300万円。今年度は15件程度の助成を行う予定です。  
応募方法 / 申請用紙はインターネットまたは郵送にて入手できます。インターネットの場合は下記からダウンロード。郵送の場合は「申請用紙希望」と明記の上、氏名、住所(郵便番号も)電話番号を添えて、Faxまたはハガキで申込んでください。なお、申請書類は下記まで郵送または宅配便で送ってください。  
問い合わせ先 / ファイザー製薬株式会社 企業文化室(担当 / 田村)  
163-0461 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル内 私書箱226号  
Tel.03-3344-7524 Fax.03-3344-7215  
ホームページ http://www.pfizer.co.jp

## 日本財団 福祉車両助成

受付締切 / 8月31日(金)  
【車いす対応車の助成】  
助成の対象となる団体 / 高齢者や障害者への外出支援・移送サービスを行っているボランティア団体・NPO法人  
助成の額 / 日本財団が指定する市販の「車いす対応車」の中から希望の車種を1台選びます。助成金額は車両価格の90%を上限とします。  
応募方法 / 「ボランティア・NPO用車両資料希望」と明記し、団体名・担当者名・郵便番号・住所・電話番号を記入のうえ、下記までFaxで資料を請求してください。  
問い合わせ先 / 日本財団・ボランティア支援部 Tel.03-6229-5173 Fax.03-6229-5179  
【訪問入浴車・介護支援車・送迎支援車・車いす対応車の助成】  
助成の対象となる団体 / 在宅介護支援事業を実施している社会福祉法人、財団法人、社団法人、NPO法人  
助成の額 / 日本財団が指定する市販の「訪問入浴車・介護支援車・送迎支援車・車いす対応車」の中から希望の車種を選びます。助成金額は車両価格の60～80%を上限とします。  
応募方法 / 「法人用車両資料希望」と明記し、団体名・担当者名・郵便番号・住所・電話番号を記入のうえ、下記までFaxで資料を請求してください。  
問い合わせ先 / 日本財団・環境福祉課 Tel.03-6229-5163 Fax.03-6229-5169

## (財)イオングループ環境財団

受付期間 / 7月1日(日)～8月31日(金)必着  
助成の対象となる団体・個人 / 次の3つの条件を満たす方。  
1. 環境保全活動を継続的に行う団体または個人。  
2. 日本の個人・団体の推薦を得ていること。(推薦者は環境問題に造詣の深い学識者、あるいは適切と思われる関連分野の専門家など)  
3. 申請される団体または個人が、海外在住の場合は、窓口担当者が日本在住の団体または個人であること。  
助成の対象となる活動 / テーマは「地球の未来を守るために」、開発途上国における環境保全活動のほか、次にあげる国内外の環境保全活動。  
A / 植樹・緑化・砂漠化防止  
B / 野生生物保護・生態系保全  
C / 山・川・海・湖の浄化など、自然環境の保全  
D / 省資源・リサイクル  
E / 環境問題研究(実践活動につながるもの)  
F / 環境教育活動  
G / 環境情報の収集・提供  
H / 国際環境会議  
Z / その他、地球環境保全活動  
助成対象事業の期間 / 原則として平成13年11月から1年  
助成の額 / 総額1億円  
応募方法 / 申請用紙はホームページからダウンロードするか(7月1日以降)申請者の住所、氏名、電話番号を記入した手紙に140円切手を同封し下記へ申し込みます。申請用紙に必要事項を日本語で記入し、下記まで郵送。インターネットまたはFaxによる助成申請書の送信は受け付けられません。  
申込・問い合わせ先 / (財)イオングループ環境財団 助成先選考委員会事務局 261-8515 千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1イオンタワー内  
Tel.043-212-6022 Fax.043-212-6815  
ホームページ http://www.aeongroup.net/

## 子どもゆめ基金

受付締切 / 8月31日(金)必着  
(第2回募集分。第1回は7月10日に締切しました)  
助成の目的 / 子どもの体験活動の振興を図る取り組みの裾野を拡げ、子どもの自主性、協調性、主体性などを育み、子どもの健全な育成を図ることを目的とした活動を支援します。  
助成の対象となる団体 / 法人格(社団法人、財団法人、特定非営利活動法人など)を有する団体または、法人格を有しないが、活動を実施するための体制が整っていると認められた団体が自ら主催し、子どもの健全な育成を目的として、子どもたちの体験活動を行う団体。  
助成の対象となる活動 / 子どもの健全な育成を図ることを目的として行われる以下の活動。  
(1)子どもを対象とする体験活動(以下、活動例)  
・自然体験活動(自然観察、キャンプ、環境保全活動など)  
・社会奉仕体験活動(清掃活動、高齢者介護、消防団活動への参加など)  
・職場体験活動(農林水産業や地場産業の体験、商業活動の体験など)  
・科学技術体験(科学実験教室や科学ものづくり活動など)  
・交流体験活動(有名なスポーツ選手とのふれあい活動やスポーツ、文化・芸術活動などを通じた交流活動など)  
・宇宙への夢やあこがれはくむ体験活動など、子どもの体験活動の機会を提供する活動  
(2)子どもの体験活動の支援活動(以下、活動例)  
・子どもの体験活動の指導者養成及び指導者の派遣活動  
・子どもの体験活動の振興方策の研究協議などを行うフォーラムの開催  
対象事業の期間 / 平成13年4月11日～平成14年3月31日  
助成の額 / 標準額は市町村規模の活動が50万円、都道府県規模の活動が100万円、全国規模の活動が300万円。限度額は2000万円。  
応募方法 / 下記まで郵送。なお、問い合わせはできるだけE-mailを利用してください。  
問い合わせ先 / 独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター 基金部助成課 151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
Tel.03-5790-8118(子どもゆめ基金) Fax.03-3467-7484 E-mail yume@nyc.go.jp ホームページ http://www.nyc.go.jp/

## (財)大和証券福祉財団助成

受付期間 / 8月1日(水)～9月14日(金)消印有効  
【ボランティア活動に対する助成】  
助成の対象となる団体 / ボランティア活動を目的とした団体。原則として県または市町村の社会福祉協議会などの推薦が必要。  
助成の対象となる活動 / 在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動を特に重視します。  
助成の額 / 1件あたり上限は30万円程度。総額5000万円  
対象事業の期間 / 原則として平成14年1月～12月  
【ボランティア活動等に関する調査研究に対する助成】  
助成の対象となる団体 / 1、研究に当たっては研究委員会を組織して行い、助成申請に際しては委員会の主だった研究員を明示すること。  
2、研究成果を日本地域福祉学会等の学会又は社会福祉協議会活動全国会議において報告すること。  
助成の対象となるテーマ / ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究。ただし、これに限らず選考の結果、特に有用と認められた調査研究については対象とされる場合もあります。  
助成の額 / 上限100万円。3件まで  
... ..  
応募方法 / 電話、Fax、郵便のいずれかで申請用紙を下記に請求するか、ホームページからダウンロード。申請は郵送にて行ってください。  
問い合わせ先 / (財)大和証券福祉財団 103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル Tel.03-3665-5147 Fax.03-3662-0495 ホームページ http://www.daiwa.co.jp/group/kouken/index-s.html  
... ..  
助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。  
財団法人 助成財団センター  
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ http://www.jfc.or.jp/

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。小俣町で定期的に自然観察会を開催している橋本祐子さんからバトンを受けたのは伊勢志摩NPOネットワークの会で事務局として活動している斎藤真理子さんです。

**県の地域NPO活動基盤整備事業をきっかけに**

……斎藤さんが伊勢志摩NPOネットワークの会の事務局員になった経緯を教えてください。

伊勢志摩NPOネットワークの会が県の地域NPO活動基盤整備事業を受託することになって、2000年の9月から、2001年の2月までの半年間専属の事務局員を雇用する際に、たまたま私に声をかけていただいたのがきっかけです。

……なぜ、斎藤さんに声がかかったのですか？

これは想像なんですけど、事業を受託した際、「おでかけチェアウォーカー」という車椅子で遊びに行ける場所などをまとめた冊子をつくることも事業の目的に含まれていたんです。私は以前、地元情報誌の編集に携わっていたので、その経験を買われたのだと思います。あと、このお話をいただく前に、ちょうど仕事を辞めて、身近な人に「次に進むために半年くらい考えたい」と話していたんです。多分、その半年という期間もポイントだったのでしょう。

……市民活動というものもよくわからなかったのではないですか？情報誌の編集に携わっていた時に、市民活動を行っている方に取材でお話を聞く機会が何度かあったので、「市民活動って何?」とは思いませんでした。ただ、その時はイベントについての取材が多かったので、「どんなことを企画しているのですか?」という形で話を聞いていました。

……活動内容はわかるけれど、活動そのものの主旨までは……。一つひとつの団体を知る機会があったのですが、活動の主旨やそれぞれ団体がネットワークを結んでいるということは知りませんでした。今はイベントを開催すること自体が目的ではないことや、イベントにしても、そのグループだけでやっているわけではないとか、そういうことが少しずつわかってきました。

**伊勢志摩NPOネットワークの会事務局**

**斎藤真理子** さんに **聞く**

**バリアフリーの冊子づくりを通して**

……冊子「おでかけチェアウォーカー」ではどのような仕事を？  
まず最初に実際に車椅子で生活している人やそうでない人、約600人にアンケート調査を行って、何が情報として必要なのか、みんなで考えました。次の仕事はメジャーをもって、地域内の飲食店の入口の段差を測ることでした。全部で100軒くらいあったかな。あと、地域内のトイレも全部、チェックして、写真を撮りに回りました。それが下調べというか、調査の部分ですね。その後、製作の段階に

入ってからは、いろんな所へ取材に出かけ、お話をうかがったり、実際に車椅子で生活されている方とプライベートの時間を一緒に過ごし、スポーツや食事に行ったりしました。

……車椅子で生活をしている方に会ったのはそれが最初ですか？一番最初に会ったのは南勢志摩県民局で行われたバリアフリーのまちづくり推進セミナー。これは実際に車椅子に乗って庁舎内のどこが不便か回るといった企画でした。その時はどう接していいかわからなくて、手を貸そうにも「あっ、あっ……」って躊躇して(笑)。それが一緒にご飯を食べたり、スポーツをしたりという機会が増えてくるにつれ、ハンディのあるなしは関係なく、友だち同士のつきあいになってきたんです。そうすると本当にお互いの壁が無くなる…、無くなったと私は思いました。ただ、車から車椅子に移る時や、たまたま階段のある場所に来てしまった時は、今でもドキッとしますけど。

……その経験は事務局として役立っていますか？

バリアフリー体験だけを取り上げるとピンと来ないのですが、人と人とのネットワークはすごく大切だと思いました。冊子づくりにしても、たくさんの人に助けってもらえたからこそ製作、発行、そして発表する場も得られたと思うんです。

……情報誌の仕事と、この冊子づくりは異質でしたか？

比較するものではないと思うのですが、以前の仕事は1冊の本すべてに自分が関わるわけではなく、任されたコーナーなどをつくっていたのに対して、こちらはゼロからみんなでつくり上げていったので、その点では大きく違ったと思います。記事にしても、実際に自分が体験したことを書いたのですが、相手のことも、事情もちゃんと知ったうえでないと、私自身きちんと伝えることができないと感じたので大変でした。1~2時間、話をしただけでは相手のことがわかりませんから。でもその部分は「おでかけチェアウォーカー」のスタッフたちがフォローしてくれたので、できる範囲でやらせてもらいました。

**周囲の人に支えられ事務局の「顔」に**

……NPOネットワークの拠点は県内でもできはじめたばかりですから、事務局としても何をすればいいのか困るのではないですか？  
そうなんです(笑)。事務という仕事も初めて、NPOそのものもよくわからないし、伊勢志摩NPOネットワークの会自体のことも、ポンと半年くらい前に来て、いきなりわかるものでもないでしょう?地域NPO活動基盤整備事業の一環として6カ月の契約で事務局員になったのですが、現在、事務所になっている部屋を使わせていただけたようになったのが今年の12月から。9~11月の間は事務局員ではあったけれど、いる場所がなかったんです(笑)。それに、その期間のほとんどは冊子づくりと、伊勢志摩生活創造圏ビジョンから受託した「きらりすとネットワークづくり」事業に追われていて、本当の意味での事務局の地盤整備というのはできなかったんです。  
……きらりすとネットワークづくり事業とは？

南勢志摩地域で地域に貢献している団体・個人の方の名簿を作成し、インターネット上で公開するという事業です。昨年度は調査事業として、人や団体を調査し、公開する了承を得るような作業をしていました。今年度はその名簿を実際に使ってもらえるよう公開し、広めていく作業に入りました。

……地域で活躍されている方々に齊藤さんが連絡を取ることで、あなたの存在がみなさんに認知されたのではないのでしょうか？

みなさんは私のことをご存じないと思いますが、私の方はこの事業を通じて、多くの方を知ることができました。

……勤務時間は？

正午から午後8時です。この時間帯はここを始動させる時に何時に空いていけば使いやすいかを話し合っただけです。メンバーはみんな、職業を持っていますから、仕事の昼休み時間から、仕事が終わってから余裕のある時間までは欲しいんじゃないかなと。

……お給料は会費でまかなっているのですか？

会費もちろんありますし、受託した事業費から出ることもあります。ただ会費や受託事業に頼るやり方では会自体が安定して長続きしないので、みんなで自主事業の方向なども考えています。

……具体的にはどんなお仕事をされていますか？

いろいろな仕事があるのですが、わかりやすいのは会の情報誌「伊勢志摩ぼんぼん通信」の作成でしょうか。あと、伊勢志摩NPOネットワークの会ではインターネットのメーリングリストを活用して情報・意見のやり取りをしているのですが、正会員さんのうち、3分の1の方はメーリングリストに参加していません。それをカバーするためにメーリングリストで交わされた内容をコンパクトにまとめた「ファックスおたより」を1週間から10日おきに出すようにしています。

## いろいろなことを知るきっかけをもらってから1年も経っていないし、まだまだ勉強中というのが本心です。

……インターネット活用的一方で、パソコンを使っていない人に情報が届かないことになりがちですが、それをフォローする良い方法ですね。これも試行錯誤中で、紙面も最初に比べるとすごく変わってきました。以前は1枚の紙にぎっしり文字を書いただけの淡々としたものですが、あまり読みたくなるような形ではなかったのですが、最近は切り張りをして、わかりやすいように以前のコメントも合わせて書いています。もちろん、みなさんから紙面についての意見もいただきます。

……メーリングリストは会話形式ですから、それをまとめるのは難しいでしょう？

当初は、メーリングリストの文章を引用する時に「このマークは引用の印」とか、「このメッセージに対して意見を返していますよ」と補足していました。番号を書いて、その順に読んでもらったり。実はこれをまとめるのは結構、難しいんですよ。でも、情報を発信していかないと、何のために会があるのかということにもなりますから。

……事務のやり方は齊藤さんが考えるのですか？

会員さんたちには「こうして欲しい」という希望があると思うので、それを自分なりに試験的にやっています。事務局にいるのは私だけですがこの会の事務局担当は全員で4人。その内の1人は南勢志摩県民局NPO担当の方です。ですから事務のことで意見を聞いたり、わからない部分は他の3人に相談しています。事務局が現在の場所に移る前は南勢志摩県民局のなかに事務局を置いていたんですよ。今はこの事務局にもコピー機やファックスなどの事務機器が少しずつ揃ってきましたが、当初はパソコンが1台きり。事務の機能はここと県民局とで分担していたんです。



伊勢志摩NPOネットワークの会の事務所です。

これがファックスおたよりです。他のグループでも参考になるのでは？



……徐々に重心がこちらに移ってきて、責任も重くなりますね？

でも、面白いと思います。伊勢志摩NPOネットワークの会は何も無いところからスタートしていますから、大変な部分もありますが、徐々に自立していくというか、育っていく楽しみを会員さんは多分、みんなが持っているんじゃないかな。

……齊藤さん自身が一番大切な「育っていく部分」ですよ。

育ててもらっているんです(笑)。私からすれば、いろんなことを知るきっかけをもらってから1年も経っていないし、まだまだ勉強中というのが本心です。でも外部の人から見れば、伊勢志摩NPOネットワークの会の事務局はここだし、連絡が取れるスタッフは私になるので「そんなことを言っていられない」という気持ちはあります。

……会のなかでも一番、会員さんと顔を合わせるでしょう？

会員さん同士は2カ月に1度の定例会や別の会議・イベントなどで顔を合わせますが、私は積極的にイベントに参加したり、みなさんの活動を見に行くことを心がけています。何も用事がなくても電話したりするので、もしかしたら嫌がられているかも(笑)。会員さんのなかには自分の会が大変で、ネットワークの方に力をそそぎきれない方もいます。そういう方にも、図々しく電話をしてみたり(笑)。その方が何をしているのか知りたいということは今すごく感じています。

……仕事で困っていることは？

事務ですね。書類づくりや会計簿など、知っていなければいけない事務作業を知らないままに始めたので、それをこなすのが大変です。作業にしても一度、自分で流れをつくってみたものの、実際に行動してみると「これじゃダメ」とつくり直したり。なかでも難しいのは資料のファイリング。私自身は自分で分けますから、頭の中にある程度は整理できていますが、他の人が使うことを考えると…。資料の種類も多いし、重複している部分もありますから。

……県内にあるネットワークの事務局同士の繋がりはありますか？伊賀の「まちづくりセンター」さんにはお話を聞かせてもらったり、疑問があると連絡をとっています。あちらも女性ひとりです。一番のお手本ですね。それとは別に地域通貨のことなら四日市の「地域づくり考房みなと」さんに聞くとか、分野ごとにそれを得意としている所に積極的に連絡を取るようになっています。

……市民活動の担い手を増やしていくことは考えていますか？

私がここにいることで、市民活動には特に興味のない同年代や年下の友だちが事務所に立ち寄ることとかがあるんです。その時に並んでいる本やチラシ、私の作業を見て「これ、何？」という感じで聞いてきてくれる、興味を持ってくれるのはいいなと思います。あと、これはちょっと宣伝になりますが、この8月からホームページを開設します。ここではボランティアをしたいという個人と、手助けが欲しいという個人・団体を繋いでいきたいと思っています。興味がある方はぜひ見てください。

伊勢志摩NPOネットワークの会事務局

住所/516-8581 伊勢市黒瀬町1323-4

Tel.0596-20-6616 Fax.0596-20-6617

E-mail ponpon@mint.or.jp

ホームページ <http://www.po-npo-n.com>

齋藤真理子さんはこの人を紹介します。

北川博子(きたがわひろこ)さん

ハンディを持った子どもたちが主人公になれる場所。それがおもしろい図書館です。北川さんは鶯方町で志摩おもちゃ図書館キラキラ星を毎月、第1・3日曜日のPM1:00から開催しています。

編集後記

毎日、暑い日が続きますね。みえ市民活動ボランティアセンターでは近頃、学生さんの姿が目につくようになりました。なかには「涼」を求めて…という方もいるようですが、少しでも市民活動に興味を持ってもらえればと思っています。みなさんも一度、センターの方へ足を運んでみてくださいね。もちろん、情報もお待ちしています。

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。

R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。